

平成 22 年度病害虫発生予報第 10 号

平成 22 年 12 月 27 日
愛 知 県

1 露地野菜

キャベツ菌核病は、発病株から隣接株に感染します。また、発病株上にある菌核は次年度以降の伝染源となるので、発病株は抜き取り、畑の外へ持ち出し、適切に処分しましょう。

2 施設野菜

トマトでは、葉かび病の発生はやや少ない状況ですが、草勢が低下すると発生が多くなるので、肥培管理に注意しましょう。また、すすかび病が発生しているほ場があります。両病害とも、多湿条件下で多発するので、換気を十分に行いましょう。薬剤は葉裏にもかかるように丁寧に散布しましょう。

ナスでは、すすかび病の発生が多くなる時期ですので、発病を確認したら速やかに防除しましょう。

キュウリでは、べと病の発生が多いほ場があります。換気を十分行い、余分なかん水を避けるなど湿度を上げないように努めるとともに、肥料切れを起こさないようにし、早めに防除しましょう。また、黄化えそ病の発生量が全域で多くなっているため、発病株を適切に処分し病原ウイルス（MYSV）を媒介するミナミキイロアザミウマを防除しましょう。

灰色かび病の発生はキュウリでやや多い状況です。発生が少ない作物でも、曇雨天が続いて施設内が多湿になると発生が多くなるので、積極的に換気や送風を行うとともに、伝染源となる発病果や発病葉は速やかに取り除いて適切に処分しましょう。

イチゴのハダニ類の発生はやや多い状況で、ここ数年発生が多い状況が続いています。暖房機の吹き出し口付近では部分的に多発することがあるので、注意して観察し、発生を確認したら早めに防除しましょう。天敵を導入している場合は、天敵への影響に注意して薬剤を選定しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	疫病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	少ない	全域	12月下旬の発生量は少ない	-
	葉かび病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
ナス (施設)	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並 青色粘着トラップにおける 誘殺数は平年並	± ±
	ハダニ類	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
キュウリ (施設)	べと病	やや多い	全域	12月下旬の発生量は やや多い	+
	うどんこ病	やや多い	全域	12月下旬の発生量は やや多い	+
	灰色かび病	やや多い	全域	12月下旬の発生量は やや多い	+
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並 青色粘着トラップにおける 誘殺数は平年並	± ±
イチゴ (施設)	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	うどんこ病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	全域	12月下旬の発生量は やや多い	+

・防除対策

〔キュウリ(施設)・べと病〕

アリエッティ水和剤、アミスター20フロアブル、リドミルMZ水和剤などで防除しましょう。

〔キュウリ（施設）・うどんこ病〕

病気が拡がると防除しにくくなります。発病株が散見される場合は、ダコニール1000やベルコートフロアブルなど予防効果に優れた薬剤を散布しましょう。増加した場合は、速やかに予防効果と治療効果が期待できるパンチョTF顆粒水和剤、ラリー水和剤などで防除しましょう。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を心がけましょう。

〔キュウリ（施設）・灰色かび病〕

換気などを行って施設内の湿度を低く保つよう努めましょう。同一系統薬剤の連用を避け、予防効果の高いボトキラー水和剤、カンタスドライフロアブルや治療効果のあるゲッター水和剤、スミブレンド水和剤などを防除体系に組み込み、ローテーション防除を心がけましょう。

〔イチゴ（施設）・ハダニ類〕

ハダニ類の発生が多い場合は、天敵を放飼する前に防除を行いましょ。すでに天敵を放飼している場合は、天敵に影響の少ないスターマイトフロアブル、ニツソラン水和剤などで防除しましょ。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台12月24日発表）

予想される向こう1か月の天候

東海地方では、平年に比べ晴れの日が多く、岐阜県山間部では曇りや雪の日が多い見込みです。向こう1か月の平均気温は、低い確率が60%です。降水量は、平年並または多い確率とも40%です。日照時間は、平年並または多い確率とも40%です。

週別の気温は、1週目は低い確率が70%、2週目は低い確率が50%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い：60% 平年並：30% 高い：10%

〔降水量〕 少ない：40% 平年並：40% 多い：20%

〔日照時間〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

予想される天候の特徴

当地方の向こう1か月の天候は、冬型の気圧配置となる日が多く、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。岐阜県山間部では、平年に比べ曇りや雪の日が多い見込みです。岐阜県山間部の降雪日数は平年より多い見込みです（12月25日～1月24日の晴れ日数の平年値（名古屋）は約19日）。

当期間の前半を中心に気温が低くなる見込みです。

「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

